

水道事業ローリングシート(個別事業点検表)

目指すべき方向性		強靱	基本政策	2 安定・快適な水道水の供給		施策	2-3 維持管理の充実		事業	2-3-2 管網の適切な維持管理		担当課	上水道維持課	
総事業費			772,361千円		事前・中間評価									
計画額	令和元年度(予算額)	令和2年度(予算額)	令和3年度(予算額)	令和4年度(予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度				
	73,931千円	74,788千円	77,605千円	77,087千円	80,755千円	77,639千円	77,639千円	77,639千円	77,639千円	77,639千円				
取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	・給水台帳、竣工図、道路台帳などの各種情報を基にマッピングシステムのデータ更新を継続的に行います。 ・より効果的な維持管理ができるようシステム改造を含め、マッピングシステムのあり方について検討します。 ・マッピングシステムについて作成されたマニュアルに関し、利用する担当者の意見を反映して、更なる操作性の向上を図ります。													
総事業費			299,577千円		終了時評価									
決算額	72,111千円	73,132千円	77,603千円	76,731千円										
達成状況	・給水台帳、竣工図、道路台帳などの各種情報を基にマッピングシステムのデータ更新を継続的に行い、情報の鮮度及び正確性を向上させました。 ・給水装置工事申請窓口業務委託業者へ窓口マニュアルに基づく指導を行い、管網の維持管理に反映できる給水台帳の作成ができた。 ・マッピングシステムのソフトの改修を行い、安定で効率的な作業ができるシステムに更新することができた。 ・マッピング地図上で、合併時に未調査となっていた旧鳩ヶ谷地区の量水器を特定し、表示した。その他のデータ整備の作業計画を策定した。													
	・給水台帳、竣工図、道路台帳などの各種情報を基にマッピングシステムのデータ更新を継続的に行い、情報の鮮度及び正確性を向上させました。 ・下水道マッピングシステム機器との機器統合を遅滞なく完了しました。 ・機器統合に伴いシステムの改修を行い、安定で効率的な作業ができるシステムに更新することができました。 ・マッピングシステムのマニュアルを整備しました。													
					・給水台帳、竣工図、道路台帳などの各種情報を基にマッピングシステムのデータ更新を継続的に行い、情報の鮮度及び正確性を向上させました。 ・システムの改修を継続して行い、より安定で効率的な作業ができるシステムとして性能向上を行いました。 ・管網解析システムについて整備を行い、情報の整理及び正確性を向上させました。 ・マッピングシステムのマニュアルを整備しました。									